

大陽日酸が豪州の産業ガス会社を買収 - 一連の買収による財務構成への影響に注目

以下は、大陽日酸株式会社（証券コード：4091）が、豪州の産業ガス・LPG 会社 Supagas Holding Pty Ltd（Supagas 社）を買収することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

見解

- (1) 当社は本日、子会社の TNSC (Australia) Pty Ltd を通じ、Supagas 社を買収する契約を締結したことを発表しました。買収予定日は 16 年 12 月中を予定している。Supagas 社は豪州に 17 拠点を有し、16 年 6 月期売上高は約 100 百万豪ドルとなっている。
- (2) 当社は 15 年 7 月に Renegade Gas Pty Ltd の買収で豪州産業ガス事業に本格参入を開始したが、本件買収により同国における当社グループの事業基盤はより強化されることになる。ただ、16 年 9 月にも Air Liquide の米国での産業ガス事業の一部を買収しており、比較的短期間で M&A 案件が続くこととなる。対象会社の売上高から見て、今回の買収でも相応の資金負担が発生すると考えられる。このため、JCR がこれまで想定していた財務改善のペースに対しても、影響が生じる可能性がある。足元の業績は好調だが、一連の買収に伴う負担を吸収し、財務構成を改善させていけるかに注目していく。

（担当）藤田 剛志・川越 広志

【参考】

発行体：大陽日酸株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ポジティブ

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル